



学年別利用説明会と図書室内部のPR

瀬戸 嘉枝

I. はじめに

1997年に当図書室がホームページを開設した当時は「ホームページによるPR」が注目されはじめた頃だった。現在では見栄えも良く内容も充実したホームページがたくさん存在している。

そこで、今回の図書室PRについては当図書室のシンプル(地味)なホームページの紹介はカットし、利用者に直接PRすることに限定してまとめてみた。

直接といえば、「オリエンテーション」や「利用説明会」はやはり効果がある。一度にたくさんの人にPRできるので、必ず反応があるからだ。それと図書室に来室した利用者に図書室内部を

どうPRするか。ここを工夫する必要があると思う。

II. 学年別利用説明会におけるPR

4月のオリエンテーションにプラスし、1年生向けと3年生向けの利用説明会を実施している。どちらも数年前から始めた説明会で、3年生向けは2005年から、1年生向けには2006年から実施している。

1. 1年生向けの利用説明会

5月前後に実施し、内容は4月のオリエンテーションの補足と1年生で主に利用する本について、配布資料(図1)を基にブックトーク風にして説明している。この説明会は毎年1年

2010/04/27 衛生学[図書室説明参考資料]

今回ご紹介した本については下記をご覧ください。

このほかにも図書室にはたくさんの本や雑誌があります。どうぞご利用ください!

I. 1年生向け参考書について

■解剖学

- ・「超入門版 誰でもわかる解剖学」 鈴木真幸著 静岡新聞社(発売) 2005年
- ・「イラストでまなぶ解剖学 第2版」松村譲児著 医学書院 2009年
- ・「カラースケッチ解剖学 第3版」嶋井和世監訳 廣川書店 2003年
- ・「ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖」 Andrew Biel 著 阪本桂造監訳 医道の日本社 2005年

■生理学

- ・「イラストでまなぶ生理学 第2版」田中越郎著 医学書院 2009年
- ・「イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき」田中越郎著 医学書院 2006年
- ・「新訂 目でみるからだのメカニズム」堺章著 医学書院 2000年

図1 配布資料

覧コーナー」、さらにその奥に「視聴覚コーナー」を設置、書架の奥には「漫画コーナー」としてコミック棚を設置した。所蔵している漫画は医療系漫画なので、以前は移動書架(図3)にあったが、2009年に漫画コーナーとして別置したところ目立つようになった。



図3 書架

利用者が多い基礎医学と国家試験問題集については2008年に新たに書棚を購入し、カウンター前の一番目立つ場所に設置した(図4)。この時、閲覧席4席分がなくなるため大いに悩んだが、書架スペース不足の問題もあり思い切って決断した。その結果、基礎医学の本を目立つ場所に置くことができ、専門図書館らしさを強く出すことができた。



図4 基礎医学・試験問題集配架スペース

新着図書については、図書室入口近くに「新着図書展示コーナー」をつくり毎月一定期間展示し、国家試験問題集の最新版はカウンター前

に置き「最新問題集コーナー」としている。

また当図書室では本の注文のほかに治療用具の注文も受け付けているため、図書室入口近くに鍼の見本ケースを置き「注文コーナー」とした。

どのコーナーもひとつひとつを目立つように工夫することが、そのまま図書室のPRにつながると思われる。

また、図書室内の掲示物も動きのない掲示物ばかりだと、変化がなくて面白みがないように感じられる。そこで「新聞記事(医学関連記事)」「卒業生記事(卒業生のことが掲載された新聞や雑誌の記事)」「ホームページ掲載記事(図書室のホームページに掲載した記事)」の3つを定期的に変えて掲示するようにした。ちなみにカウンター隣のリクエスト用紙の横に置く猫(または犬)写真も毎月変えている(図5)。



図5 カウンタースペース

IV. おわりに

図書室は「静」の場であるため、室内でできるPRはかなり限定されてしまう。大きな声を出してPRできる「オリエンテーション」や「利用説明会」なども年に数回しか実施できない。PRするにもなかなか難しい現状ではあるが、PRをすれば必ず利用者から反応がある。その反応は利用者との会話だけではなく、利用している様子や貸出状況でも読み取れる。PRすることは利用者にとっても図書室にとっても図書室活性化の鍵となる。今後も図書室の現場を良く観察し、その時の状況に応じたPRを実施していければと考えている。